

テープメーカーW (ダブル) で作る メッシュワークのリボンバッグ



制作時間 約1日

用具

テープメーカーW (ダブル) 25mm
NEW パッチワークこて
クロバーロータリーカッター
※ 〈45mm〉〈28mm〉のどちらか

パッチワーク定規、カッティングマット、
ひも通し〈はさみ式〉、目打
水性チャコペン、パッチワーク待針、

材料

キルト用熱接着テープ 10mm幅
プリント… 約30cm×35cm 6種
※生地は予備を含んだ多めの量です。
リボン 紫 (約15mm幅の熱に強いタイプ) …各6.5m
リボン 黄 (約15mm幅の熱に強いタイプ) …約2.1m
土台布 (生地シーチング等) …30cm×50cm
裏布 … 24cm×42cm
持ち手 … 1組

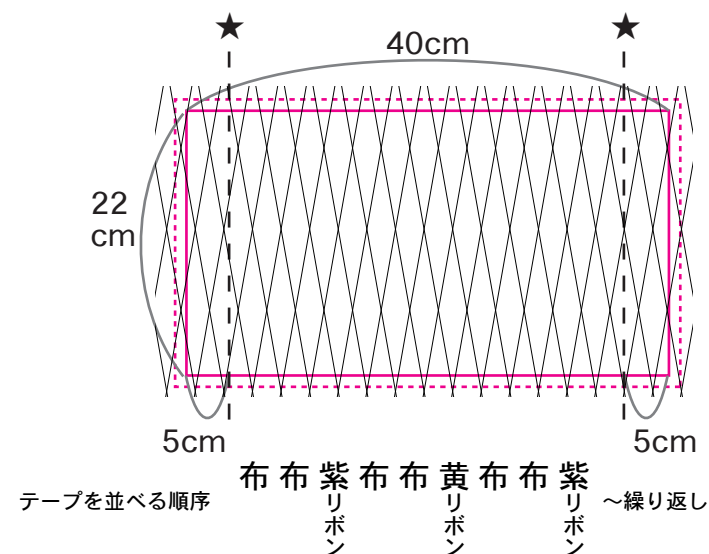
(メッシュワークの基本は、別紙の「How To Note★パッチワークキルト技法編 (5) メッシュワーク」をご覧ください。)

- ① 布テープを作ります。布目の方向に50mm幅の布を6本×6種=36本 (25mm幅用) と、黄色のリボンを35cmにカットしたものを6本と、紫色リボンを35cmにカットしたものを8本と、80cmにカットしたものを4本用意します。
袋口用に紫色のリボンを35cmにカットしたものを1本用意します。

※布をカットするときはクロバーロータリーカッター、パッチワーク定規、カッティングマットが便利です。

- ② 熱接着テープを作ります。テープメーカーW (ダブル) に布テープとキルト用熱接着テープをセットし、パッチワークこてやアイロンで接着します。リボンはそのまま裏面にキルト用熱接着テープを接着します。詳しくはテープメーカーWの説明書をご覧ください。

- ③ テープを組みます。土台布の表地に水性チャコペンで、40cm×22cmのできあがり線と上下まっすぐの線から10度づつ傾いた基本線をテープを組む時の目安に引きます。マットの上に土台布を置き、②で作った熱接着テープを右下方向に、右図の順で並べ待針で固定します。この時★に80cmの紫リボンが来るように調節します。次に交差する熱接着テープを1本すくい、1本表に出すを繰り返す、隙間が出来ないように目打で整えます。

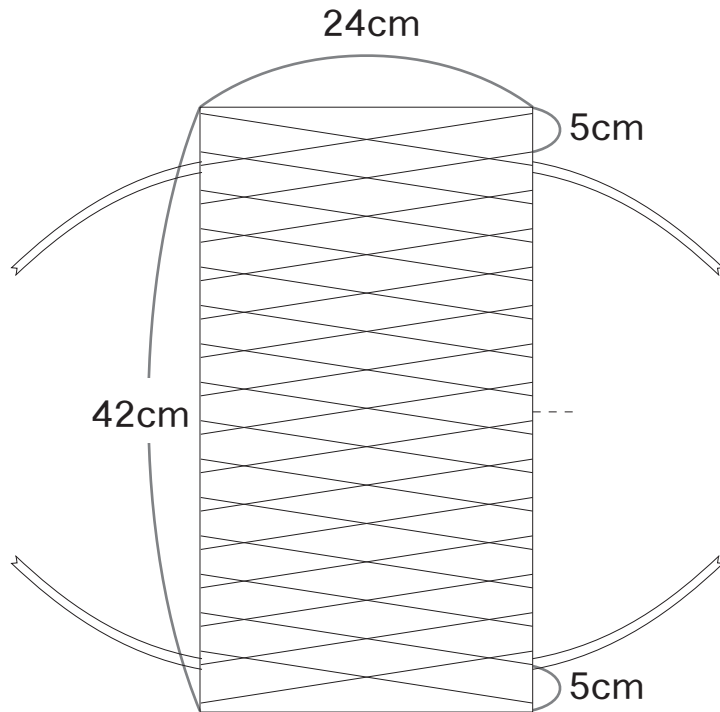


クロバー株式会社

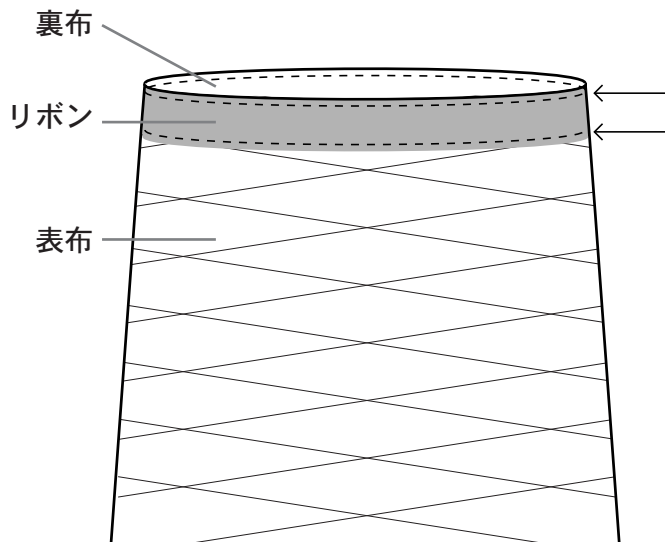
テープメーカーW (ダブル) で作るメッシュワークのリボンバッグ 1-2

出来上がりサイズ 約20cm (横) × 19cm (縦) ※持ち手は含みません。

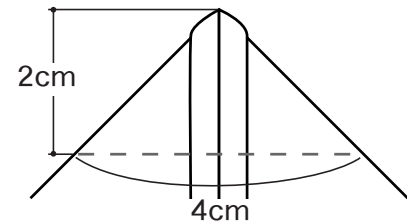
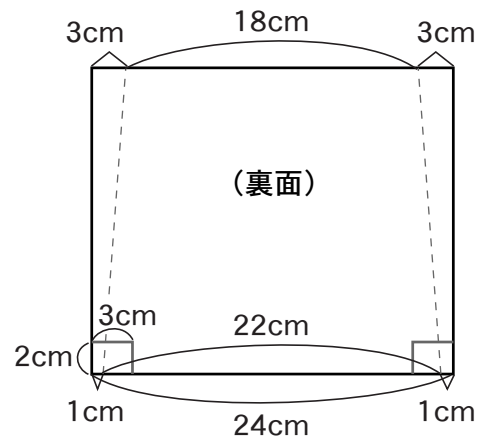
- ④ 横42cm×縦24cmの布が交差した面が作れたらメッシュワークを固定します。
 ③で付けた水性チャコペンのしるしをとり、布にあて布をあて、テープを崩さないようにアイロンをあてます。長めに用意したリボン4本は避けて、できあがり線から0.5cm外側の横41cm×縦23cmのところで大きい針目でミシンをかけて固定し、横42cm×縦24cmにカットします。



- ⑤ 表布裏布共に中表にし、両脇を1~3cmの縫いしろをとって、下図の台形の袋に仕立てます。この時も長めに用意したリボン4本はミシンをかけないでおきます。
 ⑥ まちをつくります。表布裏布共に、底の両脇の角にマチのしるしを付け、底の角を三角に折り、ぬいしろを割ってからマチを縫い、始めと終わりを返し縫いします。



リボンの端から0.3cmを2箇所ステッチします。



- ⑧ 表に返した表布と裏布を合わせます。表布裏布共に1cm中に折り込み、裏布→表布（メッシュワーク面）→○で用意したリボンの順に、メッシュワークの端が隠れるように、袋口を左図のようにリボンの上下にミシンをかけます。持ち手を付けてできあがりです。